

## 島根リハビリテーション学院の活動紹介 vol.6 カウンセリングルーム案内

奥出雲町民の皆様方、こんにちは。島根リハビリテーション学院学生サポートルームで、くらしと心の健康相談を担当しています永崎久雄、永崎節子です。

本学院では、中国山地の豊かな自然と、町民の皆様方の温かい眼差しに支えられて、数多くの学生さんたちが学んでいます。十代後半から二十代前半という、人生で最も多感な青春時代を、住み慣れた親元を離れ、この地で、同世代の仲間たちと学んでいるのです。

どの学生さんも、入学したての頃は、異郷の地で学び続けることができるのかと、不安がいっぱいでした。学生サポートルームを訪れる学生さんたちの口からは、遠い故郷の家族や小・中・高等学校時代の友人たちを懐かしむ声が聞かれました。しかし、この豊かな自然と人情味あふれる町民の皆様方に支えられ、学び続けるうちに、しっかりと未来を見据え、作業療法士、理学療法士として、国民の健康を守る役割を果たす人材になりたいとの思いを強めています。町民の皆様方から向けられる眼差しが、学生さんたちの熱い想いを焼き上げ、自らの将来への確信となっているのです。わずか十数年の人生経験しかない若者たちが、国民の健康を守る存在としての自らの役割に気づき、邁進しようとする。このような学生さんたちの成長を相談室で知り、そのように育てられた本学教職員の素晴らしい力と、町民の皆様方の眼差しに、相談室スタッフとして、心から感謝申し上げます。

人はみな、誰かが自分のことを見てくれていると気づいた時、奮起できるものです。その期待に応えようと、奮い立つのです。本学学生さんたちは、町民の皆様方の眼差しに支えられています。

実は、本学学生さんだけではありません。町内の幼児、小・中・高校生みな、子どもたちはみな、大人からの温かい眼差しにささえられています。町内で子どもさんを見かけたら、「いつも見てるんだよ。頑張ってるね」と、声をかけてあげてください。特に、部活や進路のこと等で厳しい課題に向かっている中・高校生にとっては、心強いことでしょう。自分のことを見てくれている人がいるという強い想いと安心感は、本学学生さんだけでなく奥出雲町の全ての子どもたちが、たくましく賢く心豊かに成長していくエネルギーの源となることと思います。

本学サポートルームで出会う学生さんたちを通じて、気づくことをご紹介しました。なお、サポートルームでは、本学学生さんだけでなく、町民の皆様のご利用もお待ちしております。直接学院にご連絡下さい。本学院臨床心理士・心理相談員(永崎久雄、永崎節子)がお待ちしております。

お問い合わせ 島根リハビリテーション学院 電話 54-0001 (カウンセリング利用料無料)



## 横田高校 百華繚乱 ~shine to glory~

令和元年度の稲稜祭を企画・運営した生徒会の生徒へのインタビューです。生徒会長の藤原恵太君と生徒副会長の勝部智也君が、質問に答えてくれました。

今年のテーマは何ですか?また、このテーマになったのは何故ですか?

藤原:百華繚乱~shine to glory~です。一人一人が活躍し輝ける華やかな学園祭にしたいという思いからこのテーマになりました。

文化祭の出し物や体育祭の応援合戦など、1年生から3年生までが一致団結して行うために、工夫したこと又は苦労したことはありますか?

勝部:生徒会執行部の全員で役割分担をしっかりと、日程などを確認し、一人一人が自覚を持ち行動したことが成功につながったと思います。そして、もちろん全校生徒・先生方・地域の皆様のご協力があったからこそです。

稲稜祭を無事に終えた今の気持ちは?

藤原:生徒会の最大のイベントでもあり、初めての経験も多くなりましたが、無事に成功させることができ、とても嬉しい気持ちです。創立100周年を迎える今年、自分たちらしい稲稜祭になったのではないかと考えています。また当日は、多くの地域の方々に来校していただき、本当にありがとうございました。



▲生徒会の皆さん



▲100周年人文字の様子

## おくかるフェスタ 第15回奥出雲町芸術文化祭 11月のイベント

- 2日(土)
  - 横田地区文化祭~3日
  - 横田会場作品展示~3日
  - ながたにひろみちインドスカッシュ展~3日
  - 麻雀クラブ369
  - 「青空健康マージャン体験」10:00~
  - 山里会「百人一首の会」10:00~
  - ※会場は全て横田コミュニティセンター
- 3日(祝日)
  - 第15回奥出雲町芸能音楽祭(横田コミュニティセンター大ホール)10:00~
  - 裏千家茶道教室「赤水社中 お茶席」(横田コミュニティセンター中庭)10:00~
- 4日(振休日)
  - 語り伝える会「講演・展示」(農村婦人の家学習室)10:00~
- 8日(木)
  - 「伊賀多気神社」秋祭りお茶席13:30~
- 10日(日)
  - あいふれあい祭
  - 亀嵩ふれあい祭&健康まつり
  - 鳥上・八川・馬木地区文化祭
- 17日(日)
  - 三沢地区産業文化祭
- 23日(祝土)
  - オランダデルフトブルータイルで甦る岩屋寺・仁王像完成披露(横田コミュニティセンター)

【お問い合わせ】 教育魅力課  
有線20-4263 電話52-2672

## 「一緒にお話しませんか?」 オレンジカフェ奥出雲

オレンジカフェ奥出雲(認知症カフェ)とは~  
認知症の人とその家族・物忘れが気になる方・地域の人・専門職などさまざまな人が気軽に集う場所です。

- ・認知症について(知る)(学ぶ)(考える)ことができる。
- ・年齢、性別問わずだれでも訪れることができ、地域と繋がる。
- ・認知症・物忘れ・介護など専門職に相談できる。
- ・お茶を飲み、気軽にくつろぎ話をする。



【開催日時】  
偶数月 第4木曜日 10:00~12:00  
\*永生クリニック 1階

奇数月 第4木曜日 14:00~16:00  
\*レストランパスカル  
(リハビリテーション学院前)

(費用)無料  
\*ご要望があればご希望の場所へ出張オレンジカフェも開催いたします。

【お問い合わせ】  
奥出雲町公益事業推進会  
(奥出雲町社会福祉協議会)  
電話:54-0800 有線:31-0800  
奥出雲町地域包括支援センター  
電話:54-2512 有線:31-5132

## 児童虐待とは?

身体的虐待  
殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、家の外に締め出す など

性的虐待  
子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

ネグレクト  
乳幼児を家に残して外出する、食事を与えない、ひどく不潔なままにする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、他の人が子どもにも暴力を振るうことなどを放置する など

心理的虐待  
言葉により脅かす、無視する、きょうだい間で差別的な扱いをする、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など

## 11月は児童虐待防止推進月間です

~子育てについて考えてみましょう~

## こんなサインを見落としてませんか?

子どもについて

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- ・不自然な傷や打撲のあとがある
- ・衣類やからだにいつも汚れている
- ・落ち着きがなく乱暴である
- ・表情が乏しい、活気がない
- ・夜遅くまで一人で家の外にいる

## 保護者について

- ・地域などと交流が少なく孤立している
- ・小さな子どもを家においたまま外出している
- ・子育てに関して拒否的、無関心である/強い不安や悩みを抱えている
- ・子どものけがについて不自然な説明をする

虐待かなと思ったら迷わずに「児童相談所」や「役場(福祉事務所)または「民生委員」に連絡してください。連絡をした方がわからないよう秘密を厳守します。



奥出雲町からは出雲児童相談所にかかります

【町の相談窓口】  
福祉事務所福祉係  
有線:31-5376  
電話:54-2541

「しつけ」が行き過ぎると虐待に当たることがあります。子どもを健やかに育てるために『愛の鞭ゼロ作戦』に取り組みましょう。  
※令和2年4月1日より、児童虐待の防止等に関する法律が改正されることにより、親権者が子どものしつけに際して体罰を加えてはならないことが明文文化されます。

詳しくはこちら



検索 愛の鞭ゼロ作戦